

第2学年 学級活動（1）指導案

1 議題 「なかよしオリンピックしゅう会の けいかくを たてよう」

2 議題選定までの経過

○ 本学級は、年度当初にどんな学級にしたいかを一人一人が出し合いながら学級目標を話し合い、「㊦かまを大切にす、あ㊦るく元気にあいさつ、㊦くかんがえる、たの㊦い2の ～な・か・よ・し～」に決定した。

係活動を楽しみ、積極的に活動する子も多く、自分達なりの創意工夫もできるようになってきた。しかし、中には、何をしていたか分からない、遊びに夢中になり、係の仕事をしていない子もいる。係活動や集会活動を通して、友だちと関わり合い、互いの良さに気づき、認め合える人間関係を築かせていきたい。また、役割分担を行い、自分の役割を責任を持って果たす態度も身に付けさせたい。

5月には、教師主導で学級会を開き、「係発表会」を行った。6月には、議題を募集し、クラスがもっと仲良くなるために、「クラスの歌」を学級会で話し合い、「なかよし100%」が完成した。7月には、「転校する友だちとの思い出集会」について話し合い、集会を行った。司会グループは輪番制で、子どもたちは自分が司会グループになるのを楽しみにしている。また、集会までに役割分担を行い、自分の役割を果たしたことにより、集会後の満足度も高まった。学級会で話し合ったからこそ、集会の内容が充実したことを実感している。2学期もみんな楽しんで集会をしたいという期待感をもっている。

○ 本議題は、9月に集めた議題の中から、「2年 組で運動会がしたい。」「もっと2の がなかよくなるような集会がしたい。」などの意見が多かったので、計画委員会で本議題を決めた。9月の終わりに運動会を経験し、力を合わせる喜びを知ることができた。クラスでスポーツ集会を行い、自分も友だちも楽しめる種目を考えることによって、自分だけではなく友だちを意識することができ、より一層クラスがまとまることできると考える。さらに、ひとりひとりに役割を持たせ、責任を持って働くことで、自分の良さを発揮し、自尊感情を高めることにつながる点でも、本議題は意義があると考えられる。

○ 本活動では、自分の意見を出し、友だちの意見を聞くという話し合い活動を通して、みんなで集会の種目を集団決定する。その後、一人一人が役割を持って準備し、みんなが力を合わせながら楽しく活動することを通して、友だちとの関わり合いを深め、学級目標に近づくことをねらいとしている。

事前の活動で、種目についてのアンケートをとり、話し合いの観点に沿って、4つの種目に絞った。4つの中から、希望が多かった「玉入れ」は決定し、「なかよしへびじゃんけん」、「ボールわたしリレー」、「ぼくだんボールわたし」、の3つの種目を原案に決めた。その中から、話し合いで一つの種目を選ぶことにした。話し合いまでに全員が原案の試しの体験活動を行う。原案に対して、一人一人の意見を個人ノートに書いておく。この試しの体験活動を行うことによって、実感の伴った意見を持つことができると考える。

本時の活動では、アピールタイムで、事前での共通体験をもとに、自分の考えを発表する。その後のまとめタイムでは、話し合いの観点をもとに、3つの原案を1つに決めていく。

話し合いの観点は、以下の2点である。

①楽しめるもの（だれでも楽しめる、どんな時でも楽しめる）

②助け合えるもの（一人ではなく、友だちと一緒に協力できるもの）

意見が分かれたときなどは、提案理由や話し合いの観点を提示し、意見をまとめるようにする。

事後の活動では、1学期の集会活動を想起しながら、必要な係を話し合い、役割分担をする。集会後は振り返りの時間をとり、今後を生かせるようにする。

3 目標

- 学級目標の達成に向けて、みんなが活躍できるような種目について話し合い、集会の成功に向けて、友だちと協力しながら進んで活動することができる。 (関・意・態)
- 観点や提案理由と結びつけながら、種目を考えることができる。 (思・判)
- 自分の考えを、その理由とともに聞いている人に分かりやすく伝えることができる。 (技・表)
- 自分の役割や活動が分かり、活動の楽しさや大切さが分かる。 (知・理)

4 指導計画 (全2時間+朝タイム)

展開	児童の活動	教師の指導と援助	日時
事前	1 学級会の議題について計画委員で話し合う。学級会の進行の役割分担を行う。 2 計画委員会で、提案理由、話し合いのめあて、柱を決める。 3 種目についてのアンケートを取り、それをもとに、教師と計画委員会で、原案(種目の提案者)を決める。 4 原案の共通体験活動を行う。 5 学級会ノートに、自分の考えを書く。 6 計画委員会を開き、学級会の準備をする。	○ 議題を分類し、要望の多いものから、学級会で話し合う価値のある議題を選ばせる。 ○ 提案理由や話し合いのめあてを、詳しく決めさせる。 ○ 運動会や体育の授業を想起させながら種目を考えさせる。(誰もが簡単でできるもの、みんなが楽しめるものという、種目を考える視点を与える。) ○ アンケート結果をもとに、計画委員で2つの種目のうち、1種目は決定する。 ○ 原案を決める時は、話し合いの観点をもとに選ぶようにする。 ○ 計画委員会でプログラムを決める。 ○ 原案の競技の試しの活動を行い、自分の考えがもてるようにする。 ○ 考えの理由も書かせるようにする。 ○ 個人ノートをもとに、話し合いの流れを予想し、学級会の進め方を確認する。 ○ リハーサルを行う。十分に練習を行い自信をもって取り組めるようにする。また、フロアの子どもたちには、個人ノートを持たせ、考えを称賛し、発表への意欲を持たせる。	9月19日 昼休み 10月2日 昼休み 10月3日 朝タイム 10月4日 昼休み 10月9日 昼休み 10月10日 朝タイム 10月11日 昼休み 随時
本時	1 話し合い①で、なかよしオリンピックの種目を決める。話し合い②で、集会を盛り上げる工夫について話し合う。	(下記参照)	10月15日 5時間目
事後	1 実行委員会で活動計画、役割分担計画などを作成し、提案する。 2 集会の準備をする。 3 なかよしオリンピックを実施する。 4 活動を振り返る。	○ 係を中心に、役割分担する。全員が役割を持つようにする。 ○ 見通しを持って活動できるように、計画表を提示したり、可能な限り時間を確保したりする。 ○ 出来るだけ子どもたちに任せるが、みんなが楽しめるように、随時助言や励ましの言葉かけを行う。 ○ みんなで作り上げた集会の良さについて振り返らせる。(振り返りカード)	10月16日 昼休み 10月17日 ～10月24日 10月25日 2時間目 帰りの会

5 本時の活動

本時 平成24年 月 日 ()

6 本時の目標

- 提案理由や話し合いの観点 (①楽しめるもの、②助け合えるもの) を意識しながら、集団決定することができる。(思考・判断)
- 自分の考えを発表したり、友だちの意見を聞いたりすることができる。(技能・表現)

7 本時の活動計画

話合いの順序	指導上の留意点	評価の基準・方法
1 始めの言葉 2 司会グループの紹介 3 議題の確認と提案理由の説明 ○ 議題 「2の3なかよしオリンピックしゅう会の けいかくを たてよう」 ○ 提案理由 ・ 心をつつにして、もっとなかよしの2の3にしたいから。 ・ みんなでスポーツをして、もっと元気で明るいクラスにしたいから。		話合いに関心をもっている。(観察) 話合いの進行が分かる。(司会グループ・観察)
4 話し合いのめあての確認 ・ 友だちの考えをよく聞いて、自分の考えをすすんではっぴょうしよう。 ・ 次のことを考えながら、話し合いをしよう。 ① みんなが楽しめるか。(だれでも楽しい・どんな時でも楽しい) ② みんなで助け合えるか。		
5 先生の話 6 話し合い 柱1 みんながたのしめるような しゅも目を 決めよう (1) アイデアタイム…自分の意見を発表する。 (2) なるほどタイム…賛成、反対意見を発表する。 (3) まとめタイム…意見を一つにまとめる。 (4) にこにこタイム…決まった意見を確認する。 柱2 しゅう会が もっとたのしくなるようなくふうを 考えよう	○ 提案理由、話し合いのめあてに沿った話し合いになるよう、強調しておく。 ○ 意見が出やすいように、個人ノートに励ましのコメントなどを書いておく。 ○ 友だちの考えを否定したり攻撃したりしないように、事前に指導しておく。 ○ 話し合いが行き詰りそうになったら、提案理由や話し合いのめあてに立ち返ることができるような助言をする。 ○ はっきりと大きな声で言うように伝えておく。	自分の考えを言う。(発言) 友だちの意見を聞く(発言・観察) 話し合いで決まったことが分かる。(観察)
7 話し合いの振り返り 8 先生の話 9 終わりの言葉	○ 話し合いで決まったことの良さ、みんなと一緒に話し合うことができたこと、司会グループへの称賛、集会への意欲づけなどを行う。	

8 評価

- クラスを学級目標に近づけるために、種目を話し合い、進んで活動することができたか。(関心・意欲・態度)
- 観点や提案理由と結びつけながら、種目を考えることができたか。(思考・判断)
- 自分の意見を、その理由とともに友だちに分かりやすく伝えることができたか。(技能・表現)
- 自分の役割や活動が分かり、活動の楽しさや大切さが分かったか。(知識・理解)

メモ